



アッラー への ズィクル によって、こころ は やすらぎ を える

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんのおのしゅ(スバーナワターラー)は、りかいりよくのあるしんこうしゃのことをつぎのようにせつめいしておられます。「たつていても、ざしていても、よこたわつていてもアッラーをおもいおこし、しよてんとだいちのそうぞうについてりかいするもの。…」¹

また、ハディースのなかで、あいすべきよげんしゃ يُغْفِرُ はつぎのようにかたっています。「みづからのしゅをおぼえているものと、おぼえていないものとでは、いきているものとしんでいるもののようなものである。」²

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

ズィクルは、しゅ(スバーナワターラー)にたいするわたしたちのけんしんとちゅうせいのあらわれです。しんこうしゃはしゅ(スバーナワターラー)にたいし、ズィクルをとおしてじぶんのこころをひらきます。「それゆえ、われをおぼえておきなさい。そうすれば、われもあなたがたをおぼえておくだろう。…」³ というしよくをしっかりとまもっているのです。ズィクルをとおして、アッラー(スバーナワターラー)のそんざい、そのゆいいつせいやおちからについてふかくかंगाえます。しんこうしゃのこころは、ズィクルをとおしてやすらぎをえます。「アッラーをおもいおこすことで、こころはやすらぐのではないか」⁴ というしよくのとおり、しんこうしゃのたましいはズィクルをとおしてやすらぎ、そのかていもまた、ズィクルをとおしてへいあんをえます。

しんあいなるムスリムのみなさま！

ズィクルとは、つねにアッラー(スバーナワターラー)をこころにとめ、きまったもんごんをくちにだしてとなえることであり、またことば、たいど、こうどうをとおしてアッラーのおよろこびをえるどりよくをすることです。それはわたしたちのナフスをあらため、ぜんとせいぎのみちをあゆみ、へいわとこうふくをたっせいするためにはげむことです。

しんあいなるムスリムのみなさま！

つねにぜんのおのしゅ(スバーナワターラー)をおもい、しゅのおよろこびとたすけ、そしてじひとをもとめるようにしましょう。きゅうきよくのズィクルであるれいはいをおろそかにしないようにしましょう。「ズィクル」ともよばれるせいクルアーンをあんしょうし、りかいし、それにしたがってせいかつしましょう。

ほんじつのきんようれいはいのホトバを、わたしたちのよげんしゃ يُغْفِرُ がおしえてくださったつぎのいのりをもっておわります。「アッラーよ、あなたをおもいおこし、あなたにかんしゃをし、さいぜんのほうほうであなたにつかえることができるよう、わたしをたすけてください。」⁵

¹ Al-i 'Imran, 3/191.

² Bukhari, Da'awat, 66.

³ Baqarah, 2/152.

⁴ Ra'd, 13/28.

⁵ Ibn Hanbal, II, 299.